



若竹だより

276



【巻頭言】

家族の家づくり

—念願の学園増改築工事—

園長 野田大燈

去る 1 月 22 日曜日、寒波の影響で強い風
雪が舞う午後から職員と園生が学園増改築に伴う
雑木の伐採作業を行いました。

中学生高学年の中に伐採に使用するチェーンソー
を扱える園生がいました。

なんと彼は小学 3 年生の頃から薪作りのために
チェーンソーの使い方を父親から教えてもらって
いた、と言うのです。

そのために彼は伐採工事が始まる前から「何時
から伐採は始まるの?」とウキウキしていました。

大人でもチェーンソーを扱える人は多くはない
と思いますが、彼はお父さんから素晴らしい技術を
教わっていたと思います。

中学生に混じって小学生もノコギリを使って一
生懸命に枝を切っていました。

学園の増改築が完成するのは明年の 3 月頃です
ので、現在の中 3 生と退園していく 6 年生は完成
後の学園で生活できないのが残念です。

そして 3 日後の 25 日、建設重機 2 台とダンプ
カーが学園に到着し、本格的な造成工事が始まり
ました。

園生たちが遠巻きに興味深々とした眼差しで作
業風景を眺めていました。

特に伐採作業に関わった園生は自分の出番はな
いのか、と言うような風情で見っていました。

もちろん、園生の関われる作業はちゃんと残し
ています。

それは重機で根こそぎ倒された樹木をノコギリ
で裁断して薪づくり作業です。

夏の終わりごろに小学生の一部の園生たちがク
ヌギ林から枯枝を集めてきて「ツリーハウス」を
作ろうとしていましたが、枯枝では折れてしまう
ので、工事の時に伐採した枝を使えばいいと約束
していたので、ツリーハウスの柱に使えるための
枝が必要です。

造成工事の時の樹木が園生たちのアイデアで
作られたツリーハウスは大人になっても記憶に残
ると思います。

造成工事は土木専門の方が行いましたので、3
日間の予定が 2 日で完了しました。

ひとつ気掛かりなことは、10 年ほど前に埋め
た「タイムカプセル」の位置が分からず、今回の
掘り起し作業では見つからずじまいでした。

次回のタイムカプセルはちゃんと目印を付けて
埋めなくてはならないと痛感しました。

「十人十色」と言う言葉がありますが、若竹学
園には男女も年令も出身地も異なる様々な児童が
生活していますが、学園は「家庭」だと思ってい
ます。

新しい「家」が出来ようとしています。私たち
の家庭です。

家造りに少しでも関わっていれば「家」を大切
にしたいと思います。同時に家族を大切にする心が
生まれて来ると思います。

園生が関われるのはこの作業が最後なのです。

—了—

1 月青峰・若竹学級だより

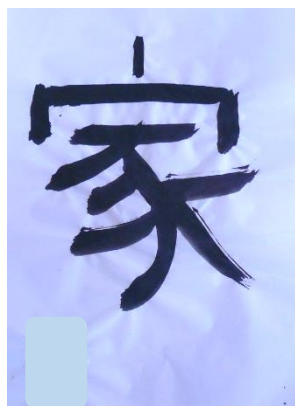
新年明けまして
おめでとうございます。
今年もよろしくお祈りします。

1. 3 学期スタート

1 月 10 日、始業式が行われました。子どもたちは、校長先生や園長先生の話を目を合わせて真剣に聞いていました。「今年一年も頑張るぞ!」という気持ちが伝わってきて、とてもよい雰囲気です。3 学期のスタートが切れました。

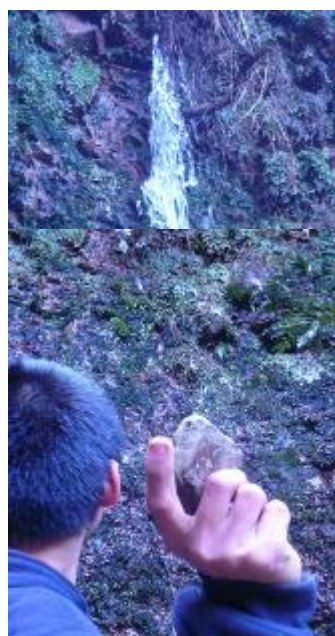
2. 一年の計は元旦にあり

一年の始まりにあたり、子どもたちは今年目標を漢字一文字で表しました。子どもたちは今年頑張りたいことや、大切にしたいことを考えました。小学生は書き初めとして、自分が決めた漢字を毛筆で書き初めをしました。それぞれが考えた漢字の意味を考えながら、大きく成長できる支援をしていきたいと思ひます。



3. 自然の造形

若竹学園の周りにも風花がちらほら舞う、寒さが一番厳しい季節となりました。気温が下がったある日、「日見ずの滝が凍っているかも。」と子ども



たちが言うのでフィールドワークに出かけました。滝までの道中は険しい道でしたが、どんなつららが見られるのかわくわくしながら走っていき子どももいました。あいにくつららは成長の途中で滝全面が凍るまでには至っていませんが、冬の自然を満喫

できました。

4. 防災学習

阪神淡路大震災から 22 年。防災学習の一環として神戸の復興に取り組んだ人々のドキュメンタリーを見ました。ほとんど前例のない大変な作業を成功させるために、様々な立場の人たちが協力し合って、地域のために頑張っている姿に、子どもたちは目がくぎ付けでした。困ったときに協力し合う大切さを学んだように感じました。

餅つき

12 月 28 日に餅つきをしました。今年の餅つきの写真をみて、楽しみにしていた児童や初めての餅つき体験だという子どもも多かったようです。餅つきがはじまると、想像していた以上に杵が重たかったようで、なかなかつくのに苦戦しながらも笑顔になっていく様子が印象的でした。あんこを詰めてころころと転がし、あん餅を作った後、一足早くお雑煮も食べてお正月の準備が出来ました。



お正月

「明けましておめでとうございます。」の挨拶から始まった 1 日の日には天気にも恵まれ、初詣に出かけました。受験生は受験合格にご利益があるようにとお参りしたり、お守り売り場では今年は健康に気を付けたいから健康お守りを買おうと並ぶ子どももいました。



その後は、頂いたお年玉で買い物に出かけました。子ども達は、カードやゲームカセット、本などを嬉しそうに見つけては、いい物が買えたと話していました。

また、その日の夕食は自分達で食材を買いに行って、協力して作って美味しくいただきました。お正月ならではの楽しい時間を過ごすことが出来たように思いました。



うどん作り

食育活動として、うどん作りを行いました。

各班に分かれて自分達で小麦粉をこね、足で踏んだりしながら、うどんの生地を作りました。



うどんを切る時には、まるでうどん職人になったような気持ちで楽しめていました。出来上がったうどんの太さや長さにはどれも味わいがあり、自分達で作ったうどんには、大満足でした。



ふれあいさろん演奏



1月9日、ふれあいさろんで、学園で行っている遍路小屋のお接待の講演会があり、園生も演奏者として参加してきました。笛や木琴などの楽器を使い、緊張しながらも演奏する事が出来ました。

釣りだより

寒くなり、魚は釣れないのではないかといいながらも、釣り好きの子どもたちは何度かチャレンジに行きました。この日は、30センチを超える大物を釣って帰って、嬉しそうにしていました。釣れる時、釣れない時があるけど、そのことも含めて楽しめるようになればいいなと応援しています。



初雪

「今年は雪は積もるのかなあ…積もったらいいのにな。」と話していた子ども達。少しですが、若竹も雪が積もり、子ども達は喜んでいました。



1月行事

- 9日 ふれあいさろん演奏
- 21日 うどん作り
- 25日 買物学習

在籍人数 平成 29 年 1 月 25 日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	3	2	5
	中学生	8	5	13
	その他	0	0	0
	計	11	7	18
女 子	小学生	2	0	2
	中学生	6	2	8
	その他	0	0	0
	計	8	2	10
合計		19	9	28

編集後記

今年も受験生は追い込みの時期に入り、それぞれ頑張っています。寒くなる季節になる為、体調管理もしながら、学習支援も行い、みんなが力を発揮できるように学園でもサポートしていけたらと思います。
児童指導員 植松 圭吾

第 276 発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192
TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160
ホームページ <http://4on.or.jp/>
Eメール wakatake@4on.or.jp
編集兼発行者 若竹学園 編集委員
発行責任者 野田 大燈